

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

建物概要				外観
建物名称	(仮称)ケースデンキ人吉店新築工事	階数	地上1F	
建設地	熊本県人吉市東間上町字鍛冶屋敷	構造	S造	
用途地域	都市計画区域内	平均居住人員	100人	
気候区分	地域区分	年間使用時間	6,570時間/年	
建物用途	物販店, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2014年10月 予定	評価の実施日	2014年5月9日	
敷地面積	7,430 m ²	作成者		
建築面積	3,574 m ²	確認日	2014年5月13日	
延床面積	3,542 m ²	確認者		

1 CASBEE評価結果

建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

環境品質 Q

環境負荷 L

環境効率 BEE = 1.1

BEE = 1.1

■BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$

■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)

排出率

89%

2 熊本県重点評価結果

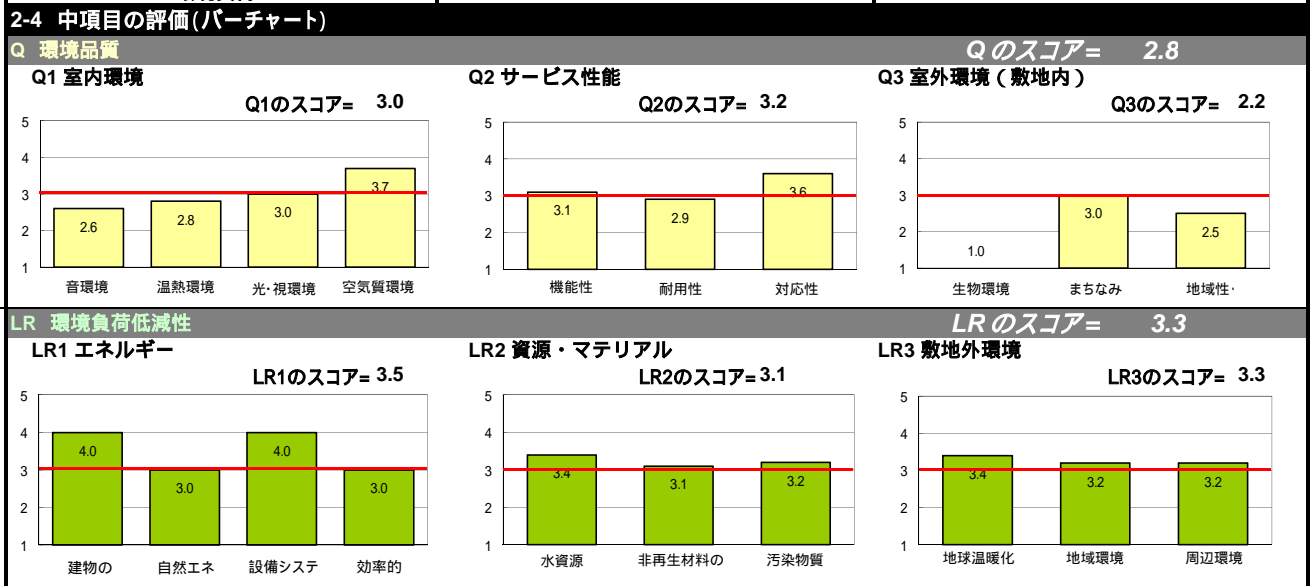
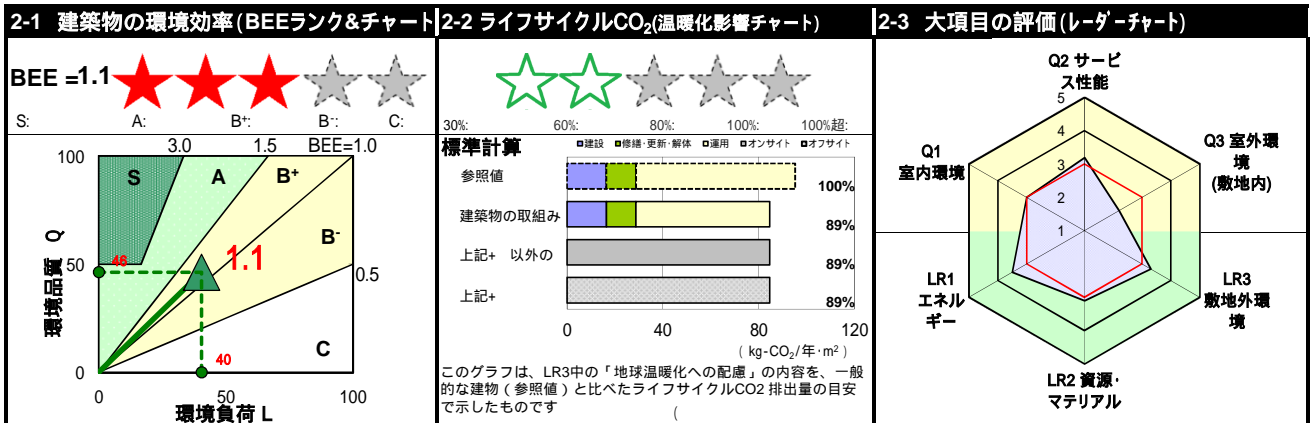
重点事項総合評価	評価点													
	77													
	評価点	熊本県重点評価基準												
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	83.3	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> </tbody> </table>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	65.0													
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0													
【重点事項4】 循環型社会の実現	79.5													

評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®熊本《新築》【評価結果】

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。
 使用評価マニュアル：CASBEE-熊本(新築版)2010年改訂版Ver.2 (SPVBE対応) 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ケースデンキ人吉店新築工事	階数	地上1F
建設地	熊本県人吉市東間上町字鍛冶屋敷	構造	S造
用途地域	都市計画区域内	平均居住人員	100人
気候区分	地域区分	年間使用時間	6,570時間/年
建物用途	物販店, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年10月 予定	評価の実施日	2014年5月9日
敷地面積	7,430 m ²	作成者	
建築面積	3,574 m ²	確認日	2014年5月13日
延床面積	3,542 m ²	確認者	



CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補
(仮称)ケースデンキ人吉店新築工事

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPIBE対応)

評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei\

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境					0.39			3.0
1 音環境				2.6	0.15	-	-	2.6
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	
1.1.1 室内騒音レベル				3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	0.95	3.0	-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.05	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音				1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境				2.8	0.35	-	-	2.8
2.1 室温制御				3.4	0.50	-	-	
1 室温		夏季26 冬季22 での設計		4.0	0.48	3.0	-	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能				3.0	0.18	3.0	-	
4 ゾーン別制御性				3.0	0.34	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.50	-	-	
1 昼光率				-	-	-	-	
2 方位別開口				-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	-	
3.2 グレア対策				-	-	-	-	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御				-	-	-	-	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
3.3 照度				-	-	3.0	-	
3.4 照明制御				3.0	0.50	3.0	-	
4 空気質環境				3.7	0.25	-	-	3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		天井裏を除く内装材は全てF、天井裏はF以上を		4.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	
1 換気量		全体換気量/売り場必要換気量=7000/2356.32=2.97 1.4		5.0	0.48	3.0	-	
2 自然換気性能				3.0	0.04	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.48	3.0	-	
4 給気計画				-	-	-	-	
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		喫煙コーナーあり		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.2
1 機能性				3.1	0.40	-	-	3.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				3.0	0.04	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.04	3.0	-	
3 バリアフリー計画				3.0	0.92	-	-	
1.2 心理性・快適性				2.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		売り場CH=4.5m		5.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース				1.0	0.33	-	-	
3 内装計画				1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い内装、外壁に耐候性塗料、融解垂鉛メッキ処理		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		清掃員控室・清掃用具室・ゴミスペースの設置		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.31	-	-	2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-	
1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水、汚水、雑排水管内2つにB使用、かつE不使用		5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			2.6	0.19		
1	空調・換気設備		3.0	0.20		
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		
3	電気設備		3.0	0.20		
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20		
5	通信・情報設備		3.0	0.20		
3 対応性・更新性			3.6	0.29		3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31		
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.07	5.0	0.40	3.0	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38		
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.22		
Q3 室外環境(敷地内)				0.31		2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		
LR 建築物の環境負荷低減性						3.3
LR1 エネルギー				0.40		3.5
1 建物の熱負荷抑制			4.0	0.26		4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.21		3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		
3 設備システムの高効率化		高効率器具の使用	4.0	0.32		4.0
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	4.0			
		集合住宅の評価	3.0			
4 効率的運用			3.0	0.21		3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		
LR2 資源・マテリアル				0.30		3.1
1 水資源保護			3.4	0.15		3.4
1.1	節水	自動水栓・節水型便器の採用	4.0	0.40		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63		3.1
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ビニル床シート	3.0	0.20		
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げが容易に分別可能	4.0	0.24		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22		3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68		
1	消火剤	10型粉末消火器	4.0	0.33		
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33		
3	冷媒		3.0	0.33		
LR3 敷地外環境				0.30		3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2概算値 = 89%	3.4	0.33		3.4
2 地域環境への配慮			3.2	0.33		3.2
2.1	大気汚染防止	自家発電設備ディーゼル軽油燃焼能力16.4L/h	4.0	0.25		
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		
1	雨水排水負荷低減		-	-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		
3	交通負荷抑制		3.0	0.33		
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		
1	騒音		3.0	0.33		
2	振動		3.0	0.33		
3	悪臭		3.0	0.33		
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		
1	風害の抑制		3.0	0.70		
2	砂塵の抑制		3.0	-		
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす	5.0	0.70		
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		

CASBEE[®] 熊本 《新築》 【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

十分な階高と天井高を確保、十分な換気量を確保し、喫煙コーナーの設置などを行うことで室内環境し、維持管理を行いやすい設計となっている。

Q1 室内環境

室温設計の考慮、喫煙コーナーの設置、内装材には化学汚染物質の発散の少ないものを使用するなど、室内環境に配慮している。

Q2 サービス性能

十分な階高と天井高を確保、また維持管理機能、配管設備の更新性に配慮している。

Q3 室外環境（敷地内）

LR1 エネルギー

高効率器機を導入し、設備システムの高効率化に配慮している。

LR2 資源・マテリアル

節水型便器・自動水栓を使用することで、水資源の保護に配慮している。

LR3 敷地外環境

室外照明及び室内照明のうち外に漏れる光について対策を行い、周辺環境に配慮している。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)ケースデンキ人吉店新築工事

評価ソフト: CASBEE-NCb_2010_kmt2011(v3.0)

使用評価マニュアル: CASBEE熊本(新築)2011年版

熊本県重点評価結果				総合評価点	77.2	
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
温室効果ガス排出量削減の推進				83.3	0.40	33.32
Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.08			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.07			
Q1-3.2.2	昼光制御	0.0	0.00			
LR1 1	建物の熱負荷抑制	4.0	0.13			
LR1 2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1 3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3 2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
循環型社会の実現				79.5	0.20	15.90
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
重み係数の総和は、「1」であること。

各重点事項(~ の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
重み係数の総和は、「1」であること。

(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数